

平成31年度全国学力・学習状況調査における鴻巣市の結果の概要【中学校】

1 鴻巣市と埼玉県・全国との正答率比較

	国 語	数 学	英 語
鴻巣市	72	58	56
埼玉県	73	59	56
全 国	72.8	59.8	56.0

2 中学校各教科の領域・区分等について

<p>国語</p> <p>○「話すこと・聞くこと」は、全国・県平均を下回っています。 「書くこと」は、全国・県平均と同程度です。 「読むこと」は、全国・県平均を下回っています。 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国・県平均と同程度です。</p>
<p>数学</p> <p>○「数と式」は、全国・県平均と同程度です。 「図形」は、全国・県平均と同程度です。 「関数」は、全国・県平均を下回っています。 「資料の活用」は、全国・県平均を下回っています。</p>
<p>英語</p> <p>○「聞くこと」は、全国・県平均と同程度です。 「読むこと」は、全国平均と同程度で、県平均を下回っています。 「書くこと」は、全国・県平均を下回っています。</p>

3 質問紙調査から（一部抜粋）当てはまる・どちらかといえば当てはまるを選んだ生徒の割合

質問事項	鴻巣市	埼玉県	全 国
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	81.4	79.2	76.4
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	61.4	55.3	50.4
今住んでいる地域の行事に参加していますか	55.0	48.8	50.6
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	75.2	74.4	61.5
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか	76.7	74.4	65.6
1，2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	81.7	81.2	76.6
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	77.9	76.3	71.6
数学の勉強は好きですか	62.3	58.3	57.9
1，2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	88.5	85.2	79.2

4 学習指導改善のための今後の方策

【鴻巣市学習指導の重点】

- 学習課題を明確にし、児童生徒が見通しをもって学習するとともに、学んだことを自分の言葉で表現するなど、一人一人が学習の成果を振り返ることができる授業を展開していきます。
- 学習課題について一人一人が考える時間を十分に確保し、自分の考えをもって他者と交流することで、考えを深めていくことができる授業を展開していきます。
- 学んだことが確実に定着するよう、授業の中でまとめの練習問題に取り組むとともに、新たな課題を見付けたり、日常生活に活用したりできる授業を展開していきます。

【各教科指導の重点】

【国語】

- 文章の構成や展開、表現の仕方について分析するだけでなく、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりするように指導していきます。
- 話し合いをする際には、誰と何について話し合うのか、何のために話し合うのかを理解し、今は何について話し合っているのかを捉え、それに応じて話すように指導していきます。
- 語感を磨き、語彙を豊かにするために、事象や行為などを表す多様な語句を、目的や場面に応じて適切に使うことができるように指導していきます。

【数学】

- 表、式を関連付ける活動を取り入れ、関数における定数や対応の特徴を捉え、変数同士の関係を式で表すことができるように指導していきます。
- 様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることができるよう指導していきます。
- 目的に応じてデータを収集して整理し、データの傾向を読み取る活動を取り入れ、データの代表値を求めることができるように指導していきます。

【英語】

- 情報を正確に聞き取るためには、英語の音声の特徴を踏まえて、事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解するように指導していきます。
- 説明文やエッセイ、物語など、まとまりのある文章のあらすじを読み取る際には、文章全体を通して、段落相互の関係を考えながら読むようにするとともに、読みやすい部分を手掛かりにしながら、読みづらい部分についても、推測して読み進めていくように指導していきます。
- 言語材料を正しく用いて、伝えたい内容が読み手に伝わるように正確に文を書くことができるようにするとともに、特定の言語材料のみを用いて文を書かせるだけではなく、コミュニケーションの目的や場面、状況のある言語活動において、様々な個別の知識を活用させて文を書かせることを授業の中に位置付けるように指導していきます。